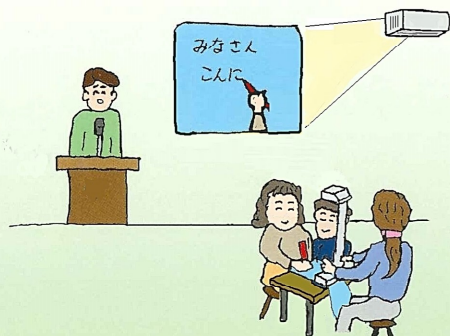


どんな活動をしているの？

- 会員相互の親睦・交流
 - 聴覚障害者の福祉向上
(字幕放送の普及、要約筆記者の派遣依頼)
 - 要約筆記者による情報保障の確立と養成講座への協力
 - 会員の教養研修
(トータルコミュニケーション教室開催)
 - 機関紙の発行
 - 補聴援助システムに関する啓蒙と活用
 - 社会福祉関係団体等との連携
- などがあげられます。



東北6県の難聴者・中途失聴者、要約筆記者たちが一同に集まって交流を深めた「東北ブロック大会」懇親会（津軽すっぴん三味線）



手書きによる要約筆記

私たちの協会の目的は？

本協会は、難聴や中途失聴など聞こえの不自由な人々がお互いの能力に合った手段（補聴器・筆談・手話・読話・口話・人工内耳等）でコミュニケーションを行うトータルコミュニケーションを社会に啓蒙することにより、聞こえの不自由な人々同士の交流を深め、かつ聞こえの不自由な人々と健聴者とのコミュニケーションを円滑にし、聞こえの不自由な人々の基本福祉の向上および社会参加の推進に寄与することを目的としています。



もし災害が起こったらあなたはどうしますか？
東日本大震災があった年は、日本を元気づけようと青森で全国福祉大会を開催しました。

特にパソコンやOHCで文字情報を保障する「要約筆記者」の普及は、私たちの大きな願いです。

青森県聴覚障害者情報センターやねむのき会館などを会場として活動しています。聞こえのことで悩んでいる方、一度当協会の例会に参加してみませんか。

体験談より...

小学校の頃、高熱を出し、病院に注射しに通いました。その後遺症で段々聞こえなくなり、聴覚障害者になりました。学童期から高校を卒業するまでは普通の学校に通いました。両親の強い希望で、聾学校ではなく、普通学校で学びました。学校時代は、席を一番前にしてもらいました。補聴器は箱形にしました。箱形補聴器だと落っこちてしまうことがあります。体育の時には、落ちると困るので、服の裏側に入れるところをつけて補聴器を入れたことがあります。聞こえの教室に通ったこともあります。ここは聞こえの訓練をするところですが、部屋を暗くして、「音がどこからするか？」とか残存聴力の訓練をしてきました。

先生も今は故人となりましたが、当時は先生が何度も聞こえていない私に話しかけました。参観日の時には、（聞こえる訳ないのに）先生の話をしっかり聞きなさいと叱られたことがあります。実の親でさえ障害を理解してくれてません。でも、聞こえない私にもよくしてくれる先生や友達もできました。友達によっては、今の要約筆記のように伝えてくれて、とても励みになりました。

ほんの少しの配慮で私たち難聴者は心が温かくなります。

学校卒業後は、就職がなく、授産施設に入り、人の何倍も勉強しました。でも、車イスの人がいても車イス用の設備がつくられていなかったり、聞こえない人が働いていても、聞こえないことに対して何も配慮されていないことが当時は多くありました。仕事の時でも、時々、話す事を紙に書いてくれない時があります。「どうして書いてくれないの？」と私が聞くと、「あなたは話せるでしょう！」と言われる。聞こえる時もあれば、聞こえない時もあるのに…。

病院に行った時は、「聞こえないのでおねがいします。」と前もって話しておいたにもかかわらず、普通に話しかけてきます。何のために病院に行ったのかよく分かりません。

難聴は、聞こえる時と聞こえない時とがあります。最近、補聴器を変えて、音がうるさい時があり、聞き取りづらくなるときもあります。夫婦でもそういうことでけんかになることがあります。

今までのことをふりかえり、要約筆記が欲しいと思いました。

聞こえない人は、子供から高齢者までいろいろな人がいます。

相手が聞こえないことを忘れず、聞こえない人の立場を理解してほしいものです。

こんなことはありませんか？

日常生活や職場、学校などで、健聴者とのコミュニケーションや人間関係などの問題で悩んでいる方

- ・相手の説明がわからずに不安
- ・相手によってはきちんと対応してくれない
- ・「私は耳が聞こえない」となかなか言えない
- ・先生の話が聞こえず、勉強が嫌いになった
- ・手話がなかなか覚えられない

講演、電話、放送など聞こえにくいために困っている方

- ・テレビや映画が楽しめない
- ・劇を見たいが、台詞がわからない
- ・電車が遅れたとき、どうして遅れたのか、どれくらい遅れているのか気になる
- ・名前を呼ばれるとき、緊張する
- ・講演などを聞きたいが、話がわからず取り残されたような気持ちになる
- ・緊急時の避難誘導の呼びかけが聞こえない



聞こえが不自由なことを表す耳マークです。

手で合図して
ください

はっきり口元を見せて
話してください

お手数ですが
筆記してください

……と訴えています。

同時に、聞こえない人・聞こえにくい人への配慮を表すマークでもあります

青森県難聴者・中途失聴者協会とは…

何気ない同障害者との出会いや要約筆記者とのふれあいが、いつのまにかあなたの心を和らげ、元気づけてくれています。そんな人たちの集まりです。ぜひ一度、ご相談ください。

青森県難聴者・中途失聴者協会

青難聴



【事務局】〒030-0852

青森市大字大野字若宮27 渡辺淑子方

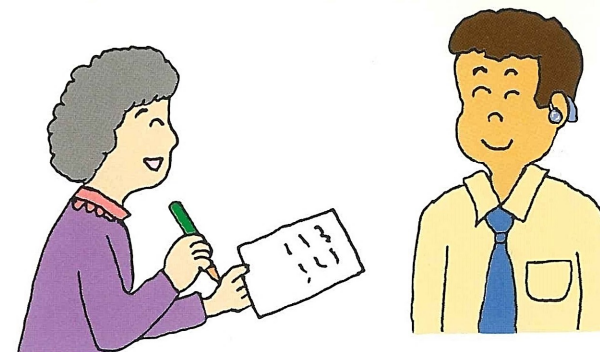
FAX 017-739-0690

TEL 090-8782-4681

E-mail aonancho@hb.tp1.jp

↑ わかりあえる
コミュニケーションを!!

きこえのことで
悩んでいませんか？



耳のことで
悩んでいる人たちが
集まって
活動しています!!

青森県難聴者・中途失聴者協会

あおなんちょう
(略称「青難聴」)